



県立三好病院

平成28年1・2月

あけましておめでとうございます。

徳島県立三好病院の新棟が完成してはや1年4ヵ月。どうやら、急性期病院としての形態も定まってまいりました。これもひとえに西部圏域の県民の皆様、そして関係諸機関の皆様のご協力のお陰と、深く御礼申し上げます。

西部圏域は、徳島県の中でも広大な面積を有し、しかも山間部が多く、高齢化と人口減少が問題になっています。医療制度改革も、この人口論に一端があるといえます。しかしながら、絶対数の多い都市を中心とした指標だけでは、地方は語れません。西部圏域の暮らしと幸福を、必要な医療を確保することで支える。それが、三好病院に科せられた使命だと信じています。

がん治療では、内視鏡手術や体腔鏡下手術といった、低侵襲手術の標準化が整いました。「フルセットのがん治療」整備の一環として、臨床倫理委員会も設置いたしました。高齢者の治療が増える中、年齢にかかわらず、自分の思う治療を受けていただける病院創りと、地域啓発を進めてまいります。

2040年には、三好病院入院患者さんの8割が後期高齢者になると予測しています。いま増加しているのは、誤嚥性肺炎、脳卒中後遺症、そして認知症の合併症です。「立って食べて生きる」ためのリハビリ環境の整備、そして認知症の方が他病で入院した場合の看護支援体制も充実させてゆきたいと思っています。

そして大切な人材育成は「阿波池田から始める地域医療」とネーミングさせて戴きました。「地域に根ざした医療とは何か」を、池田の地でいっしょに考えませんか？医療には勿論、「病」解明のための遺伝子も細胞も臓器も大切です。しかし、それ以上に、これらの統合体としての生命、意志を持つ個人は大切です。そして、個々の「生」は、集団としての地域が支えていることを知ることは不可欠です。地域医療に興味を持つ若い人々に期待しています。是非いっしょに地域で「地域」を学びましょう。

これからも、西部圏域の皆様とともに「信頼」される病院を創ってゆきます。ご支援を賜れますよう、よろしくお願い申し上げます。

徳島県立三好病院長 住友 正幸



第4回 三好病院市民公開講座を開催しました！

今年のテーマ『地域包括ケア ～みんなで守る 地域で見守る あなたの暮らし～』

医学教育センター

11月29日に池田総合体育館サブアリーナで市民公開講座を開催し、174名の参加がありました。

第1部では他県他圏域の参考モデルとなるシステムの構築を進めている広島県地域包括ケア推進センター主幹 石口房子先生を講師にお招きし、「自分らしくここで生きる～あなたの役割～」というタイトルでご講演いただきました。



第2部では、実際に三好地域の地域包括ケア構築に関わる方々が、それぞれの立場から現状と課題について討論を行いました。

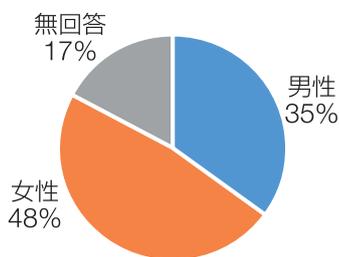


みよし事業所連絡協議会の協力により、ケアマネジャーによる相談コーナー、介護用品の展示コーナーも行いました。

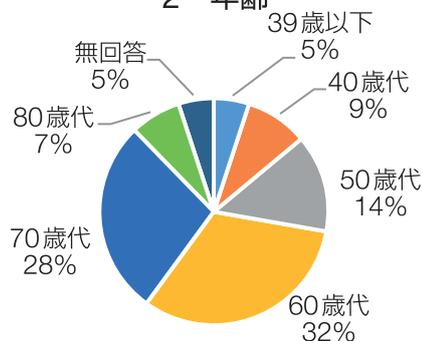
三好病院では、地域包括ケアを底支えするプロジェクトを推進中です。医療関係者だけでなく地域のすべてのみなさまと協力して地域包括ケアを進めていきます。よろしくお願いします。

アンケート結果

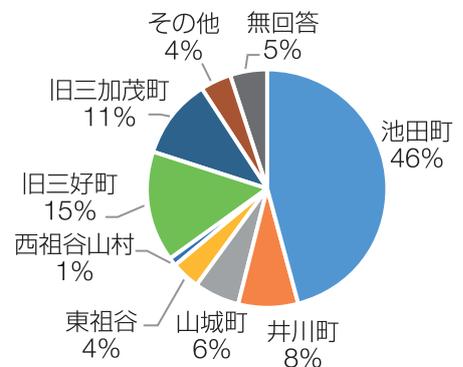
1 性別



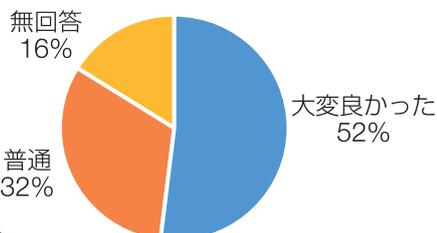
2 年齢



3 住所



4 講座



5 その他自由意見

- ・パネルディスカッションが良かった
- ・分からなかったことが分かるようになった
- ・パネラーに現場の職員を加えて、実際に現場の声を聞かせてほしい
- ・このような機会を重ねて医療・介護・行政が連携強化してほしい
- ・三好病院の医師の思いが見えた など

三好地区の保健師さんとの意見交換会

11月18日(水)に徳島県市町村保健師連絡協議会三好支部連絡会議の一部として圏域の保健師さんにお越しいただき当院の透析室の見学と意見交換会を実施しました。

当日は、三好市、東みよし町、美馬市、つるぎ町から保健師、助産師、管理栄養士の方が36名参加して下さり、住友院長や臨床工学技士など当院職員と地域にお住いの方に、より良い医療環境を提供できるよう連携を進める重要性などについて意見を交換しました。



自衛隊ヘリコプターによる夜間救急搬送訓練

10月26日(月)当院屋上ヘリポートを使用した夜間救急搬送訓練を実施しました。

南海トラフ巨大地震の発生から2日経過した夕方に県東部の瓦礫中から重症者が救出されたが、県東部の病院には搬送が困難であるため、県は災害派遣中の陸上自衛隊にヘリコプターによる当院への搬送を依頼。陸上自衛隊は、第14飛行隊に夜間の救急患者搬送を命じたとの想定でした。また、多くの自衛隊パイロットが当院ヘリポートへの着陸を経験するため、当日は午前10時から午後7時まで延べ20回の離着陸が行われました。



山城町地区住民福祉協議会防災訓練

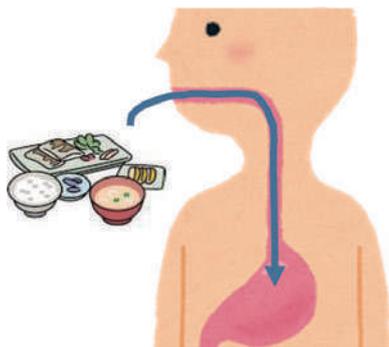


11月29日(日)山城公民館で開催された防災訓練に参加させていただきました。

山城中学校の生徒の皆さんや地元消防団の方にDMATはどのようなものか、テレビドラマのイメージを払しょくするために、寸劇を交え紹介させていただきました。

摂食・嚥下障害看護認定看護師 小島 寛恵

「最後まで口から食べたい」「食べる事は生きがいだ」という患者さんの言葉を聞き、その思いを支えたい、患者さんと共に頑張っていきたいと思ったのが認定看護師を志したきっかけでした。



摂食嚥下障害という言葉を知っていますか？

摂食嚥下は食べ物や飲み物を見て、口に運び、飲み込んで食道を経て胃に送るまでの過程を指します。年齢を重ねるなど、病気の影響でこの過程に問題が起きると摂食嚥下障害になります。摂食・嚥下障害看護認定看護師は、摂食嚥下障害を持つ方やその家族、そして、ケアするスタッフの方に対し専門的な知識や技術を持って支援したり、相談を受けたりしています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師の主な役割

1. フィジカルアセスメントやベッドサイドスクリーニングテストを実施し摂食嚥下機能を評価する
2. 嚥下機能の評価に基づき、適切かつ安全な摂食嚥下訓練を選択し実施する
3. 適切なポジショニング、口腔ケアを実施し、誤嚥性肺炎の予防を行う
4. 栄養状態の評価を行い、低栄養や脱水の予防を行う
5. 食べる楽しみや生活の質を維持、向上できるように他職種と協働し、チームの一員としての役割を果たす



食べることや飲み込むことで困っていることがあれば、ご相談下さい。



認定看護師 小島

～ 県立病院基本理念～
県民に支えられた病院として
県民医療の最後の砦となる

発行 徳島県立三好病院 広報委員会
〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2
TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910

臨時看護師募集

随時募集しています
詳しくはホームページを御覧ください
<http://www.miyoshi-hosp.jp/>